

(別紙)

令和6年度(令和5年度からの繰越分)障害福祉分野のロボット等導入支援事業
(施設等に対する導入支援分) 事業報告書

※導入機器ごとの効果や目的等を把握するため、導入機器ごとにそれぞれ作成をしてください。(一体的に利用している機器を除く)

自治体名 埼玉県

【基本情報】

フリガナ	シャイフクホウシンワカイ
法人名	社会福祉法人日和田会
フリガナ	グループホーム「ノバラ」
事業所名	グループホーム「野ばら」
施設・事業所種別(指定を複数受けている場合は、補助上限額を適用する施設・事業所を選択)	
グループホーム	
職員数(常勤換算数)【「従事者の1ヶ月の勤務時間」/「事業所等が定めている、常勤の従事者が勤務すべき1週間の時間数 × 4(週)」にて算出(産休・育休、休職は除く)】	
12.1 人	

(1)主な導入機器内容(種別・機器名等)

機器の種別: ☐ 移乗介護 ☐ 排泄支援 ☒ 入浴支援
☐ 移動支援 ☐ 見守り・コミュニケーション

機器名(導入台数) つるべシリーズF2R (1セット)

(2)ロボット機器等導入前の定量的指標及びロボット機器等導入後の定量的指標

① ロボット機器等導入前の業務時間内訳

業務内容		A.業務従事者数	発生件数		D.1件当たりの 平均処理時間(分)	人時間 E(A×C×D)	1人あたり 業務時間 (C×D/A)
			B.ひと月当たり	C.年間発生件数(B×12)			
直接介護	1 移動・移乗・体位変換	4 人	84 件	1,008 件	40 分	2,688 人時間	168 時間
	2 排泄介助・支援			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	3 生活自立支援(※1)			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	4 行動上の問題への対応(※2)	2 人	22 件	264 件	15 分	132 人時間	33 時間
	5 その他の直接介護			0 件		0 人時間	#DIV/0!
間接業務	6 巡回・移動			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	7 記録・文書作成・連絡調整等(※3)			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	8 見守り機器の使用・確認			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	9 その他の間接業務			0 件		0 人時間	#DIV/0!
			106 件	1,272 件	55 分	2,820 人時間	#DIV/0!

※1 入眠起床支援、利用者とのコミュニケーション、訴えの把握、日常生活の支援

※2 徘徊、不潔行為、昼夜逆転等に対する対応等

※3 利用者に関する記録等の作成、勤務票等の作成、申し送り、文書検索等

以下の※1及び※2については、ロボット機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1>B.ひと月当たり発生件数の算出方法

直接介護「1」:該当の支援が必要な利用者は2住居①グループホームあさがおに1名、②グループホームひばりに2名いる。①グループホームあさがおの対象利用者は毎日利用のため、31日。②グループホームひばりの対象利用者のうち1名は31日利用、もう1名は週末や祝日は帰省するため1ヶ月平均22日利用として計算。故に、ひと月当たりの発生件数は31+31+22=84件。
直接介護「4」:行動上の問題への対応が必要な利用者は、週末や祝日以外の1ヶ月平均22日グループホームを利用している。故に、ひと月あたりの発生件数は22件。

<※2>D.1件当たりの平均処理時間の算出方法

直接介護「1」:入浴支援の一連の流れ(脱衣所⇄洗い場⇄浴槽)にかかる時間を実際に計測し、平均時間を算出。
直接介護「4」:湯船で温まった後、湯船から上がることに拒否する利用者を上げるのにかかる時間を計測し、平均時間を算出。

② ロボット機器等導入後の業務時間内訳

業務内容		A.業務従事者数	発生件数		D.1件当たりの 平均処理時間(分)	人時間 E(A×C×D)	1人あたり 業務時間 (C×D/A)
			B.ひと月当たり	C.年間発生件数(B×12)			
直接介護	1 移動・移乗・体位変換	4 人	84 件	1,008 件	40 分	2,688 人時間	168 時間
	2 排泄介助・支援			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	3 生活自立支援(※1)			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	4 行動上の問題への対応(※2)			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	5 その他の直接介護			0 件		0 人時間	#DIV/0!
間接業務	6 巡回・移動			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	7 記録・文書作成・連絡調整等(※3)			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	8 見守り機器の使用・確認			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	9 その他の間接業務			0 件		0 人時間	#DIV/0!
			84 件	1,008 件	40 分	2,688 人時間	#DIV/0!

以下の※3及び※4については、ロボット機器等導入後の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※3>B.ひと月当たり発生件数の算出方法

直接介護「1」:該当の支援が必要な利用者は2住居①グループホームあさがおに1名、②グループホームひばりに2名いる。①グループホームあさがおの対象利用者は毎日利用のため、31日。②グループホームひばりの対象利用者のうち1名は31日利用、もう1名は週末や祝日は帰省するため1ヶ月平均22日利用として計算。故に、ひと月当たりの発生件数は31+31+22=84件。
直接介護「4」:機器の導入により、行動上の問題への対応が不要になった為、ひと月あたりの発生件数は0件になった。

<※4>D.1件当たりの平均処理時間の算出方法

直接介護「1」:入浴支援の一連の流れ(脱衣所⇄洗い場⇄浴槽)にかかる時間を実際に計測し、平均時間を算出。

年間業務時間数想定削減率(%)

4.7%

(3)削減率が20%を超える場合は、その要因について記載すること。

--

(4)ロボット機器等の導入により得られた効果

高齢のパート職員が直接支援を行っており、脱衣所⇄洗い場⇄浴槽の移動の介助者の身体的精神的負担が大きかったが大幅に軽減し、離職防止に繋がっている。また、利用者を転落させるリスクが軽減し、安全に入浴支援が出来るようになった。更に、中々湯船からあがらない利用者の入浴支援をスムーズに行えるようになり、支援に関わる職員が2人から1人になった。その分、他の業務に回れるようになった。

(5)今後の課題

使用する職員が高齢のため、導入した機器を安全に使いこなせるかが課題。

(6)気づき等について

なし

(7)費用面での効果(ロボット機器等の導入による費用の縮減の有無を必ず選択すること。)

ロボット機器等の導入による費用の縮減	無
--------------------	---

ロボット機器等の導入による費用の縮減が「有」の場合、以下を回答すること。

縮減額(円/月)	
職員の賃上げ等への充当	
その他職場環境の改善への充当(※1)	
サービスの質の向上に係る取組への充当(※2)	

(※1)その他職場環境の改善の具体的な内容について記載すること。

--

(※2)サービスの質の向上に係る取組の具体的な内容について記載すること。

--